

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 環日本海交流を支える物流ネットワークの整備（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が港湾計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 緊急性、必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○



社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年01月31日

計画の名称	環日本海交流を支える物流ネットワークの整備（防災・安全）											
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	秋田県											
計画の目標	港湾施設の改良を実施し、安定した物流ネットワークの維持等を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,095	A	1,095	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

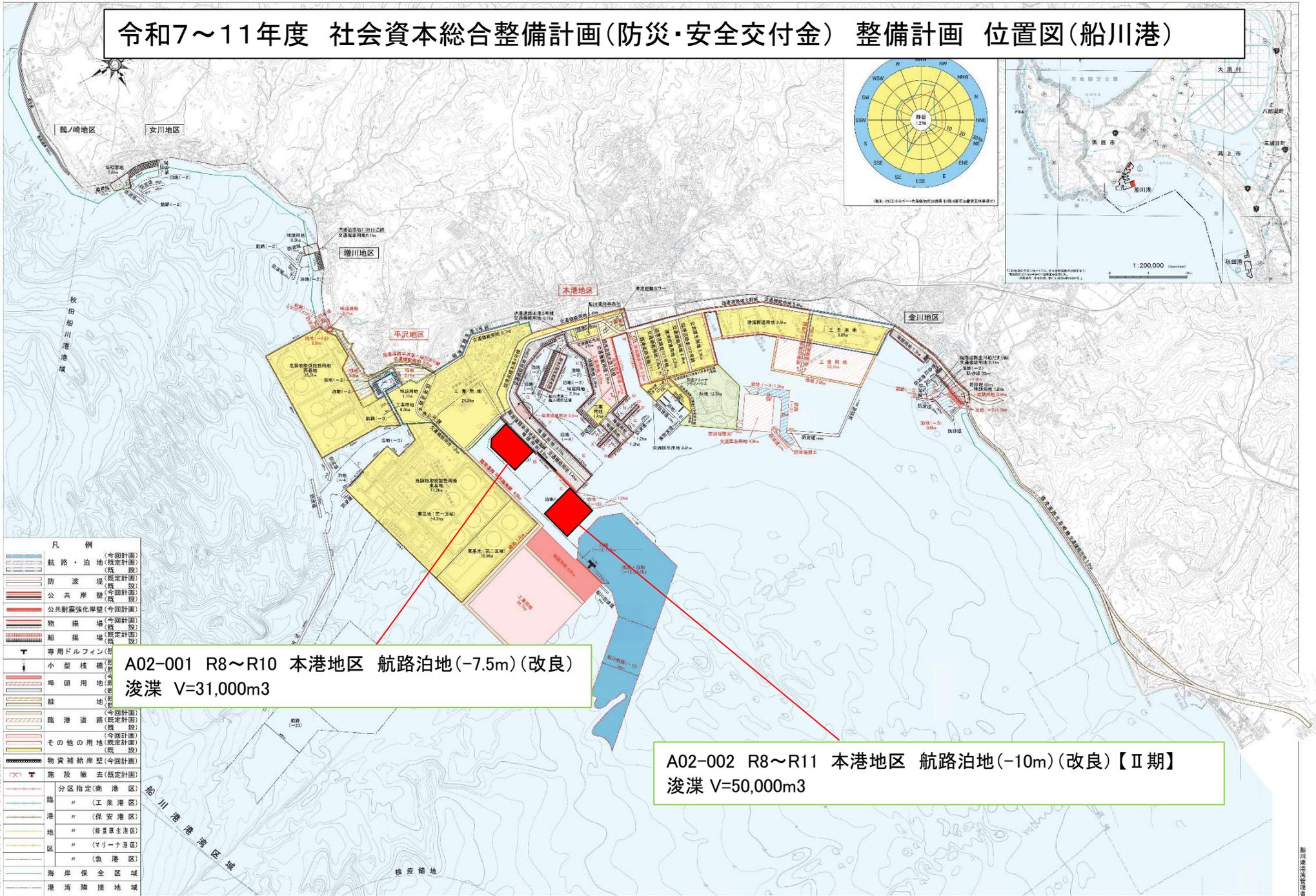
番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 （令和7年度当初）	中間目標値 （令和9年度末）	最終目標値 （令和11年度末）
1	安定した物流ネットワーク形成に伴う施設改良を早急に行い、水深不足のため水路通報が発出されている施設、減載航行している水域施設の改良達成率を0%から100%に向上させる 対象施設（3施設）のうち、水深不足のため水路通報発出、減載航行している施設の改良達成率（%）	0%	65%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
秋田県防災・減災・国土強靱化計画												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	秋田県	直接	-	重要	改良	航路泊地(-7.5m)(改良)	浚渫 V=31,000m3	男鹿市/船川港 ・本港地区						210	策定済	
	A02-002	港湾	一般	秋田県	直接	-	重要	改良	航路泊地(-10m)(改良)	浚渫 V=50,000m3	男鹿市/船川港 ・本港地区						495	策定済	
	A02-003	港湾	一般	秋田県	直接	-	重要	改良	航路(-7.5m)(改良)【期】	浚渫 V=69,000m3	能代市/能代港 ・中島地区						390	策定済	
											小計							1,095	
											合計							1,095	

# 令和7~11年度 社会資本総合整備計画(防災・安全交付金) 整備計画 位置図(船川港)



A02-001 R8~R10 本港地区 航路泊地(-7.5m)(改良)  
 浚渫 V=31,000m<sup>3</sup>

A02-002 R8~R11 本港地区 航路泊地(-10m)(改良)【二期】  
 浚渫 V=50,000m<sup>3</sup>

